

2024年 共通志願者数(確定値)

共通テスト志願者は 6年連続減の49.2万人!

減少止まらず、とうとう32年振りの40万人台へ!

旺文社 教育情報センター 2023年12月7日

大学入試センターは5日、2024年共通テストの確定志願者数を発表した。志願者数は49.2万人で対前年-2.1万人の大幅減。ここ数年、共テの志願者減およびそれに直接関連した大学入試センターの経営難の問題が表面化しているが、とうとう1992年以来32年振りの40万人台にまで落ち込んでしまった。なお、2024年の共通テストは1月13、14日、追試験・再試験は1月27、28日に実施される。

●志願者数…491,913人(前年;512,581人/増減;-20,668人/対前年;96.0%)

・現役 …… 419,533人(436,873人/-17,340人/96.0%)

・既卒 …… 68,220人(71,642人/-3,422人/95.2%)

・その他 …… 4,160人(4,066人/+94人/102.3%)

※「その他」は、高認合格者、外国の学校、高専3学年、在外教育施設(高等課程)の修了者など。

●現役志願率…45.2%(前年;45.0%/対前年0.2ポイントアップ)

※「現役志願率」は、高校、中等教育学校の卒業見込者における共通テスト志願者の割合。

※本記事のデータは入試センター資料、文科省「学校基本調査」をもとに作成。

※本記事では上記「既卒」と「その他」を合わせて「既卒等」とする。

※現役志願率は、2024年は学校基本調査の速報から算出。過年度は確定値から算出し直しているため入試センター発表の数値と異なる(前年の現役志願率は、入試センター発表数値は45.1%。基本調査速報から算出しているため)。

※今年の大学受験生数は62.4万人で、前年より3%ほど減少の見込み(旺文社予測)。

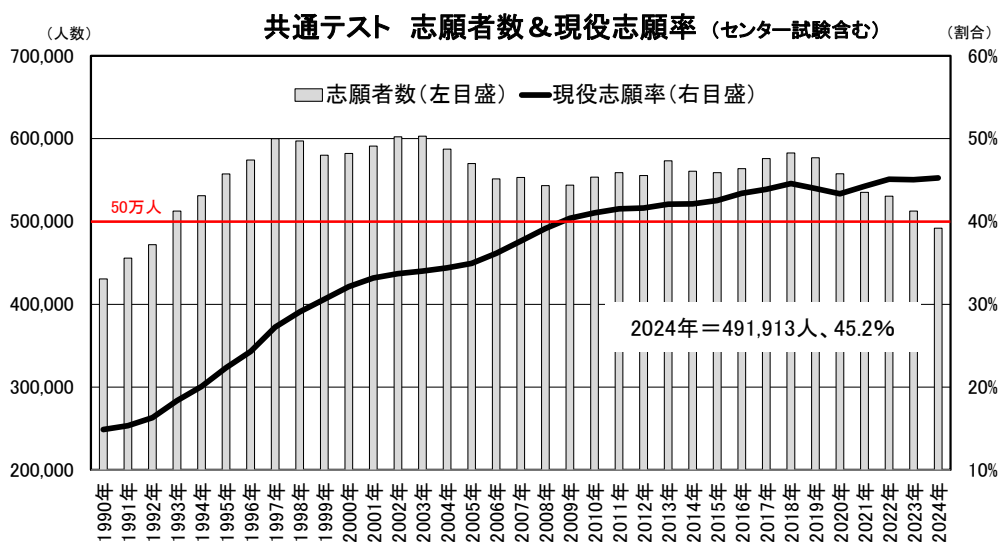
※記事中「過去最高」等の表現は、1990年にスタートしたセンター試験を含める。

●全体、現役志願者の状況

対前年-2.1万人という減少数は、コロナ入試の2021年-2.2万人に続く過去2番目の大きさ。減少の中心になったのは現役生だ。

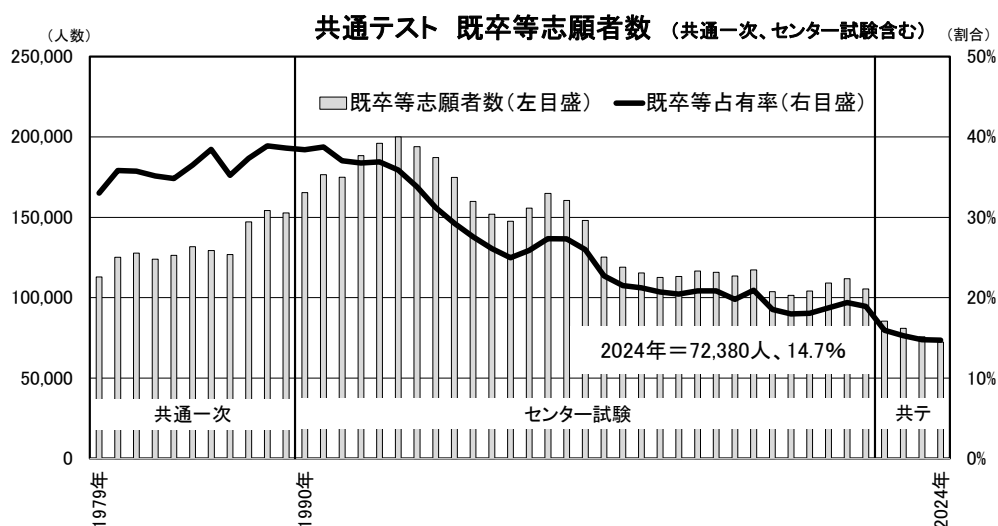
現役生減少の要因は大きく2つある。1つが人口減、もう1つが年内入試への移行と「共テ離れ」だ。まず人口減については、今年の高3生はガクっと人数が減る「谷間の年」(昨年97.0万人 → 今年92.7万人 → 来年以降、若干持ち直す見込み)。現役志願率は45.2%で過去最高とはいえ、たかだか対前年0.2ポイント程度の伸び。それ以上に高3生数自体が減っているため、実数では大幅減となった。

年内入試については総合型、推薦型で早く確実に合格を決めたいという傾向が近年非常に強い。特に現行課程最後となる2024年入試は、この傾向がより強まるだろう。「共テ離れ」は2021年に思考力に舵を切った共テの対策の難しさから、あえて共テを使わずに大学入試を乗り切ろうという受験生が一定数出始めている。実際、共テの現役志願率は大学そのものに対する現役志願率の伸びより鈍い。大学に行きたい人の割合は増えているが、その手段として共テを利用しようとする受験生が増えていないことの証だ。



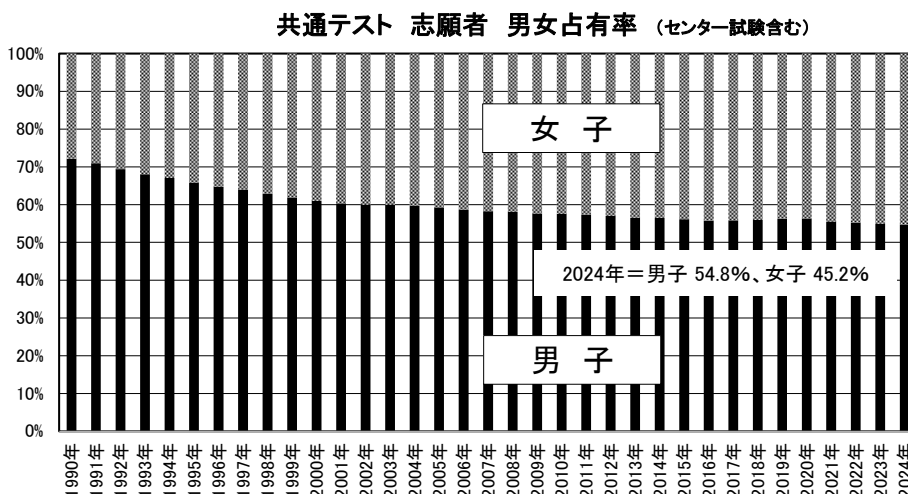
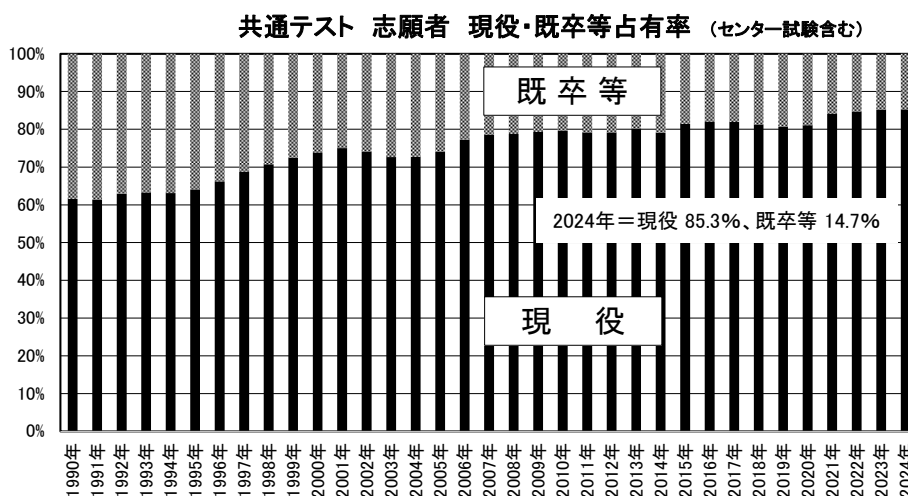
● 既卒等志願者の状況

1995年に20万人を超えていた既卒等志願者は、今や7.2万人。2024年は現役志向が非常に強いため、2025年には6万人を切る可能性もある。



※共通一次は主に国立大の志願者が対象、センター試験も当初は私立大の利用が少なかったため、単純に志願者数の比較はできない。

●現役・既卒占有率、男女占有率



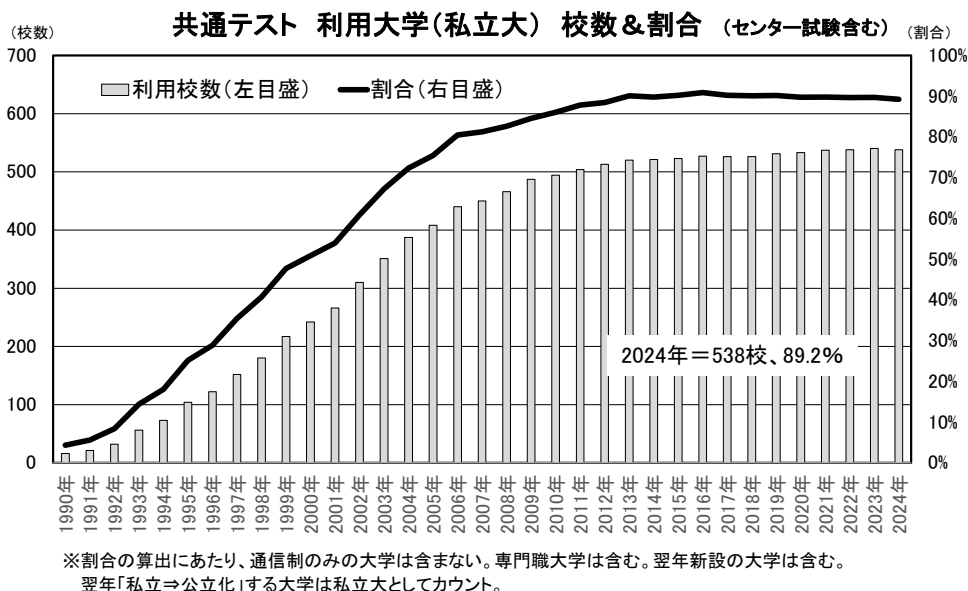
●共用利用大学数

共用を利用する大学は対前年－1大学の717大学。国公立大は公立専門職大で2024年新設の東北農林専門職大を除いて全大学が利用する。私立大は2024年新設の3大学、既存の専門職大の3大学、計6大学が新規利用。取り止めは5大学のほか、恵泉女学園大と神戸海星女子学院大が募集停止で計7大学減となる。びわこリハビリテーション専門職大は2021年から利用を開始し、わずか3年で取り止めとなった。

【新規利用】北海道武蔵女子大(2024年新設)、仙台青葉学院大(2024年新設)、愛知医療学院大(2024年新設)、電動モビリティシステム専門職大、アール医療専門職大、東京情報デザイン専門職大

【取り止め】西武文理大、大阪体育大、神戸医療未来大、倉敷芸術科学大、びわこリハビリテーション専門職大、恵泉女学園大(募集停止)、神戸海星女子学院大(募集停止)

こうした結果、私立大全体では 538 大学、89.2%の大学が利用することとなった。大学数は過去 2 番目の多さだが(最多は前年の 540 大学)、そもそも非利用も含めた私立大の全体数が増えているので、割合としては若干ダウンしている(2019 年までの数年間は 9 割台)。なお短大は公立 13 短大、私立 134 短大の計 147 短大が利用する(最多は 2011 年の 163 短大)。



入試センターの経営難の問題は、2021 年 4 月に出席された入試センター運営審議会 将来構想ワーキングチームの「議論のまとめ」で明るみに出た。ここで 2021 年度から毎年 10 数億円、2023 年度には最大 17 億円の赤字が発生する可能性があるという試算が示された※。

※2022 事業年度は当期総利益 6.7 億円。主な要因は成績提供手数料の増額(後述)、実施経費の減少による。ただし前年より 5.2 億円の減(大学入試センター2024 事業年度 事業報告書より)。

入試センターの収入は 7 割以上が受験生からの検定料、2 割近くが大学からの成績提供手数料となっている(2023 年度予算)。かつては国からの運営費交付金があったが 2011 年から廃止、また、法科大学院適性試験も同年から廃止となり、その収入もなくなった。

共テ志願者の減少はまだまだ底ではない。2025 年以降、若干高 3 生数は持ち直すものの、長期的に見て減少は明らかだ。検定料を値上げすればいいかと言うとそれも現実的に難しい。共テの検定料は文科省令で定められており、省令改正が必要になるからだ。

そうすると大学からの成績提供手数料しか手立てはなくなるが、すでに 3 年連続で「1 人 1 回 570 円⇒750 円(21 年)⇒1,200 円(22 年)⇒1,500 円(23 年)」と極端な値上げがなされてきた。

共テ志願者の減少は入試センターの経営に深刻な影響を及ぼすが、近年はそれに加えて利用大学の取り止めも気になる。2021 年からの思考力系問題の強化で受験生の中に「共テ離れ」が若干見え始めた。共テを受けない層が拡大していけば、当然利用を取り止める大学も出るだろう。

入試センターの経営が限界を迎えるのは目に見えている。ただちに公的な支援を行っていかねばならない。

(2023.12 石井)

共通テスト 志願者数(2024年)

出身高校 所在地	合計			現役			既卒等			合計 前年差
	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
1 北海道	15,360	8,752	6,608	12,986	7,043	5,943	2,374	1,709	665	-752
2 青森県	4,070	1,998	2,072	3,683	1,723	1,960	387	275	112	-115
3 岩手県	4,519	2,200	2,319	4,132	1,930	2,202	387	270	117	-115
4 宮城県	7,743	4,095	3,648	6,676	3,338	3,338	1,067	757	310	-443
5 秋田県	3,097	1,597	1,500	2,752	1,354	1,398	345	243	102	-78
6 山形県	3,664	1,803	1,861	3,315	1,554	1,761	349	249	100	-28
7 福島県	5,848	2,970	2,878	5,261	2,552	2,709	587	418	169	-214
8 茨城県	12,442	6,629	5,813	10,921	5,577	5,344	1,521	1,052	469	-635
9 栃木県	8,162	4,301	3,861	7,422	3,741	3,681	740	560	180	-361
10 群馬県	7,712	4,098	3,614	6,930	3,517	3,413	782	581	201	-384
11 埼玉県	26,989	15,329	11,660	23,429	12,688	10,741	3,560	2,641	919	-1,112
12 千葉県	22,228	12,467	9,761	19,068	10,215	8,853	3,160	2,252	908	-1,310
13 東京都	66,021	35,951	30,070	54,650	28,229	26,421	11,371	7,722	3,649	-2,080
14 神奈川県	31,534	17,991	13,543	26,749	14,595	12,154	4,785	3,396	1,389	-1,753
15 新潟県	8,717	4,470	4,247	7,876	3,867	4,009	841	603	238	-556
16 富山県	4,559	2,298	2,261	4,063	1,965	2,098	496	333	163	-242
17 石川県	5,238	2,702	2,536	4,614	2,278	2,336	624	424	200	-78
18 福井県	3,274	1,690	1,584	2,968	1,472	1,496	306	218	88	-181
19 山梨県	3,640	1,939	1,701	3,288	1,692	1,596	352	247	105	-174
20 長野県	8,750	4,704	4,046	7,456	3,811	3,645	1,294	893	401	-350
21 岐阜県	7,353	3,851	3,502	6,647	3,345	3,302	706	506	200	-225
22 静岡県	14,389	7,824	6,565	12,902	6,761	6,141	1,487	1,063	424	-633
23 愛知県	34,990	19,536	15,454	30,796	16,598	14,198	4,194	2,938	1,256	-1,490
24 三重県	6,431	3,377	3,054	5,725	2,876	2,849	706	501	205	-286
25 滋賀県	5,280	3,080	2,200	4,700	2,649	2,051	580	431	149	-458
26 京都府	9,172	5,315	3,857	7,527	4,147	3,380	1,645	1,168	477	-596
27 大阪府	28,448	16,812	11,636	23,271	13,194	10,077	5,177	3,618	1,559	-1,150
28 兵庫県	21,667	12,262	9,405	18,632	10,108	8,524	3,035	2,154	881	-982
29 奈良県	5,493	3,283	2,210	4,293	2,385	1,908	1,200	898	302	-433
30 和歌山県	3,172	1,731	1,441	2,740	1,404	1,336	432	327	105	-72
31 鳥取県	2,294	1,174	1,120	1,943	926	1,017	351	248	103	-70
32 島根県	2,469	1,250	1,219	2,188	1,051	1,137	281	199	82	-84
33 岡山県	7,407	3,969	3,438	6,569	3,388	3,181	838	581	257	-496
34 広島県	13,410	7,041	6,369	11,909	5,977	5,932	1,501	1,064	437	-156
35 山口県	4,318	2,259	2,059	3,689	1,792	1,897	629	467	162	-185
36 徳島県	2,658	1,279	1,379	2,361	1,085	1,276	297	194	103	-45
37 香川県	4,017	2,082	1,935	3,385	1,660	1,725	632	422	210	-67
38 愛媛県	5,342	2,783	2,559	4,812	2,395	2,417	530	388	142	-248
39 高知県	2,537	1,272	1,265	2,178	1,015	1,163	359	257	102	-51
40 福岡県	20,284	11,041	9,243	17,286	9,073	8,213	2,998	1,968	1,030	-1,036
41 佐賀県	3,317	1,692	1,625	2,868	1,389	1,479	449	303	146	-250
42 長崎県	4,839	2,618	2,221	4,191	2,153	2,038	648	465	183	-171
43 熊本県	5,978	3,035	2,943	5,094	2,417	2,677	884	618	266	-231
44 大分県	3,417	1,795	1,622	3,004	1,516	1,488	413	279	134	-90
45 宮崎県	3,876	1,973	1,903	3,300	1,572	1,728	576	401	175	-189
46 鹿児島県	6,107	3,394	2,713	5,000	2,588	2,412	1,107	806	301	-34
47 沖縄県	5,521	2,828	2,693	4,284	2,070	2,214	1,237	758	479	-73
48 その他	4,160	2,890	1,270	-	-	-	4,160	2,890	1,270	94
全国	491,913	269,430	222,483	419,533	218,675	200,858	72,380	50,755	21,625	-20,668

※「その他」は高認合格者、外国の学校出身者など。

共通テスト 県別「現役志願率」&「現役・既卒等占有率」

	出身高校 所在地	現役志願率									現・既占有率 (2024年)	
		2024年		2023年	2019年	2014年	2009年	2004年	1999年	1994年	現役	既卒等
		前年差										
1	東京	58.0%	0.4	57.6%	57.0%	53.7%	48.3%	39.9%	32.1%	17.5%	82.8%	17.2%
2	広島	56.0%	0.8	55.2%	54.4%	51.8%	49.5%	43.5%	39.0%	23.8%	88.8%	11.2%
3	愛知	53.7%	0.1	53.6%	51.9%	51.5%	49.7%	44.0%	42.5%	27.5%	88.0%	12.0%
4	富山	50.9%	-1.0	51.9%	52.9%	51.0%	51.3%	45.1%	40.7%	31.6%	89.1%	10.9%
5	石川	50.9%	1.3	49.6%	50.3%	48.0%	47.2%	40.7%	41.3%	25.5%	88.1%	11.9%
6	新潟	49.3%	-0.3	49.5%	46.9%	44.8%	42.4%	31.7%	24.7%	15.5%	90.4%	9.6%
7	茨城	48.9%	0.3	48.6%	45.9%	43.4%	42.5%	34.5%	30.2%	18.4%	87.8%	12.2%
8	愛媛	48.2%	1.1	47.2%	45.6%	43.6%	42.7%	39.7%	37.5%	28.6%	90.1%	9.9%
9	栃木	47.7%	-0.6	48.2%	46.3%	43.7%	42.4%	34.4%	28.3%	18.6%	90.9%	9.1%
10	兵庫	47.6%	0.5	47.2%	46.7%	42.9%	42.7%	37.8%	36.7%	20.8%	86.0%	14.0%
11	山梨	46.8%	-0.3	47.0%	48.2%	47.5%	48.3%	41.6%	30.8%	20.8%	90.3%	9.7%
12	埼玉	46.4%	-0.2	46.6%	45.4%	42.8%	41.1%	33.4%	26.9%	15.1%	86.8%	13.2%
13	群馬	46.2%	0.6	45.6%	45.9%	44.9%	44.5%	36.9%	32.0%	20.7%	89.9%	10.1%
14	福井	46.2%	-1.3	47.6%	45.4%	43.9%	43.6%	39.6%	37.1%	31.0%	90.7%	9.3%
15	長野	46.1%	0.8	45.3%	44.1%	42.2%	41.7%	33.3%	27.4%	17.8%	85.2%	14.8%
16	静岡	45.6%	0.3	45.2%	44.8%	44.7%	42.3%	37.0%	32.4%	19.6%	89.7%	10.3%
17	岩手	45.5%	2.0	43.5%	43.6%	41.9%	39.5%	31.5%	26.9%	20.7%	91.4%	8.6%
18	徳島	45.4%	1.6	43.7%	43.5%	42.5%	44.4%	37.0%	34.2%	26.2%	88.8%	11.2%
19	福岡	45.3%	-0.7	46.0%	45.9%	45.3%	43.5%	37.3%	33.8%	25.1%	85.2%	14.8%
20	香川	44.4%	2.1	42.3%	41.8%	41.5%	40.6%	37.8%	36.2%	24.7%	84.3%	15.7%
21	鳥取	44.4%	1.0	43.4%	43.4%	42.5%	41.2%	36.4%	31.2%	27.6%	84.7%	15.3%
22	千葉	44.0%	0.5	43.5%	42.0%	39.5%	38.8%	33.9%	26.2%	15.2%	85.8%	14.2%
23	神奈川	43.8%	-0.6	44.3%	43.0%	42.4%	40.0%	34.1%	28.1%	15.2%	84.8%	15.2%
24	岡山	43.3%	-0.6	43.9%	41.8%	40.5%	40.2%	37.7%	36.1%	30.4%	88.7%	11.3%
25	奈良	42.9%	-1.5	44.4%	44.7%	43.7%	43.3%	37.8%	38.5%	22.5%	78.2%	21.8%
26	岐阜	42.7%	0.6	42.2%	41.6%	41.0%	39.7%	35.3%	34.4%	24.7%	90.4%	9.6%
27	高知	42.2%	0.4	41.8%	40.0%	37.9%	33.9%	31.1%	29.6%	21.0%	85.8%	14.2%
28	秋田	42.1%	1.8	40.3%	41.0%	39.3%	37.4%	29.5%	23.9%	17.9%	88.9%	11.1%
29	佐賀	41.5%	-1.2	42.7%	41.6%	41.6%	40.8%	35.9%	32.2%	28.0%	86.5%	13.5%
30	島根	41.4%	1.1	40.2%	43.1%	46.1%	44.2%	40.8%	35.8%	27.3%	88.6%	11.4%
31	滋賀	41.3%	-2.0	43.4%	40.1%	39.7%	41.1%	35.6%	32.8%	18.3%	89.0%	11.0%
32	三重	41.2%	0.3	40.9%	40.4%	39.6%	38.7%	34.9%	33.7%	21.2%	89.0%	11.0%
33	青森	40.9%	2.2	38.7%	35.0%	33.8%	32.2%	26.2%	23.0%	18.3%	90.5%	9.5%
34	山形	39.9%	2.2	37.7%	37.1%	37.3%	38.2%	31.1%	24.9%	21.8%	90.5%	9.5%
35	長崎	39.8%	0.0	39.8%	39.8%	38.7%	36.7%	32.7%	30.6%	28.5%	86.6%	13.4%
36	宮城	39.2%	-0.1	39.3%	36.5%	36.6%	32.6%	26.0%	21.4%	14.3%	86.2%	13.8%
37	山口	39.0%	1.0	38.0%	36.6%	35.4%	35.5%	32.6%	31.8%	23.8%	85.4%	14.6%
38	和歌山	38.5%	1.1	37.3%	35.6%	34.2%	34.1%	30.0%	30.6%	17.1%	86.4%	13.6%
39	鹿児島	38.1%	0.8	37.3%	38.9%	36.9%	35.8%	31.2%	29.6%	25.5%	81.9%	18.1%
40	福島	37.8%	0.3	37.5%	36.6%	33.9%	31.7%	25.8%	21.7%	15.7%	90.0%	10.0%
41	熊本	37.5%	0.4	37.1%	36.8%	36.8%	33.6%	28.1%	27.3%	22.2%	85.2%	14.8%
42	宮崎	37.2%	-0.7	37.9%	38.1%	38.0%	38.3%	34.3%	31.9%	27.7%	85.1%	14.9%
43	北海道	37.1%	0.5	36.6%	35.6%	33.0%	31.3%	25.2%	20.2%	16.1%	84.5%	15.5%
44	大阪	36.8%	0.1	36.7%	36.0%	32.7%	31.9%	27.4%	28.3%	16.0%	81.8%	18.2%
45	京都	36.5%	-1.0	37.4%	36.4%	34.7%	36.4%	31.4%	30.4%	16.5%	82.1%	17.9%
46	大分	33.8%	0.2	33.6%	33.8%	33.4%	34.5%	29.0%	28.8%	24.0%	87.9%	12.1%
47	沖縄	32.1%	0.5	31.6%	29.0%	27.1%	23.2%	21.7%	20.8%	17.6%	77.6%	22.4%
	全国	45.2%	0.2	45.0%	44.0%	42.1%	40.4%	34.4%	30.6%	20.1%	85.3%	14.7%

※2024年の現役志願率が高い順に掲載。